第874호 1912. 1. 30.

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙定價　▲一枚金二錢　▲一ヶ月前金三十錢　▲三ヶ月前金九十錢　▲六ヶ月前金一圓八十錢　▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金十錢　▲雜報欄特別廣告五號活字十六字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久碑一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社　電話六六三番　振替口座京城四五六番
仁川支局　仁川宮町三丁目　電話二一一番
東京支局　東京市京橋區南佐柄木町七番地

寄書

スカンヂナビヤ一年間の見聞（十一）

三浦彌五郎

▲氷滑は瑞典の國民的遊戲なり　氷滑は當國上下一般に適する冬期の遊戲なり、諸處に湖沼の多きが如く瑞典には大湖水頗る多く冬期結氷するが故に氷滑は交通機關として殆んど缺くべからざるものなり、我國に於ても諏訪湖邊にて此遊戲行はるゝも未だ普ねく行渡るに至らず、朝鮮は京城以北は氷滑に最も適當と思はるゝに付學生等より初め此技を獎勵せんことを希望す、但し河川等には危險なきにあらず稍困難にして且つ之を作るに付市街に近き適當の場所例へば總督府醫院の邊に五六百坪の區域を限りて少しく地面を掘り下げ其の上に水道の水を注ぎて結氷せしめ其氷面を滑走するを可とす、尙雪去り雨降れば其雨水の結氷は存外久しく使用するを得べし、ストツクホルムに於ては斯の方法にて數千坪の長方形の氷滑場を作り多少の入場料を徵して一般の入場を許可するものあり又は倶樂部組織にて遊戲場を設くるもありて日曜祭日の如きは音樂隊を聘し奏樂に伴れて多人數列を成して滑走する狀況頗る愉快なり、夜間の方一層盛大なり、滑氷ニ足を貴下の小包にて瑞典製氷滑靴を送付するに付御受領の上は京城敎育會へ寄贈方御取計を乞ふ、適當の敎師なくば京城の外國領事館員に敎へらるゝ者必ず之れ有るべしと思ふ

▲寺內伯と雪滑　雪滑は瑞諾兩國冬期運動の大宗にして又交通機關の要具なり其道具をスキーと稱す先頃伯林に榮轉せる杉村大使は諾威在勤中瑞典の軍用スキー二臺を當時の陸軍大臣寺內伯に寄贈し同伯は其の研究を高田の第十三師團に命せられ研究の結果は啻に軍隊に於てのみならず雪地一般の交通上並に雪地人の運動上非常の好成績を得るに至りたる趣にて尙予は同師團より右スキー術に關する書物雜誌等の購送方を依賴されたるに付書肆を探して有らん限りを送付し置きたり

▲十三師團の研究報告　第十三師團の報告によればスキー術は山地に於て局地を限定し練習場を設け遊技として練習すること恰も氷滑術に同じ而して其の興味之に倍し容易に各種の地形を跋渉し得べし特に一般人民蟄居防寒を事とする時季に於て薄衣郊外を馳驅するを以て進取活潑の氣性を養成し且つ斷崖を滑降する等の爲め膽力を練るにも亦可なり又曰はく越後地方は氣候溫和にして結氷せざるを以て氷滑の遊戲を爲すこと能はず從て從來學生冬期の遊戲法無かりし爲め兒童の体尺信州の者に比し短小なるは統計の證する所なり

總督御常用　堅牢無比　鶴屋式木履　京城鶴屋

溫突迷語

權太生

◎貧乏は最少を望み奢侈は最大を貪る、所謂貧の盜みは饑ゑざる程度と凍へざるとを以て滿足するも奢侈の盜みは際限無きもの也、口に八珍を喰ひ身に錦繡を纒へば更に虛榮心を增長し來りて、より以上の富を望み名を思ひ爵位までも得んことを希ふ、目的の爲めには手段を擇ばず、遂には泥棒御殿までも築き上げんずば止まず。

◎大丸松屋又は三越等の店頭に立ちて欲しさの餘りに我れを忘れて手を出す貴婦人の萬引は、奢侈の盜みの極小なる者也、之れを譬へば空腹の餘り前後の思慮分別も無く、眼さへ眩みて餅屋の店頭より其木製の招牌餅を掻浚ふ間拔け者の如し、唯憐れにこそあれ、憎むべき性質のものに非らず。

◎然れど、奢侈の盜みは多く計畫的也組織的也、あらゆる文明的設備と最新の智識と而して尙は特殊の位地と權力とを利用して其盜みを働く、彼等にとりては政治も產業も敎育も乃至宗敎も悉く好個の稼ぎ場たらざるは無し、貧の盜人あり、之れを拉致し牢獄に投せざる可からず、而も奢侈の盜みは悲しい哉遂に之れを如何ともする能はず、何となれば奢侈と權力は異名同體也、法律の權威は奢多の盜みを罰す可く其力餘り微弱なれば也。

◎同盟解傭が資本主の正當なる一權利たるは何人も疑義を挾まざる所然らば之れに對する勞働者の同盟罷業は奈何じ曰く不可也其罪正に牢獄に値すと、於是乎知る、法律と警察と裁判所と牢獄とは之れ貧の盜人の取締機關にして之等を支配按排するは、又奢侈と權力に外ならざることを、貧すれば鈍する也鈍して自ら人間の理想と權利を全然放棄し盡して又之れを顧みざるもの、之れを模範的奴隸と云ふ仍ち表彰に値する也。

俳句　●コッパ會句錄（二）

摘草

摘草や駄馬渡す舟鳥くに　魚骨
摘草や草色にじむ紅の裾　袋人
見や摘むし甲斐なき草も籠の中　柳子
摘草や小さき川の古都に入る　若石
摘草の袖に戯る小犬かな　止水
くさ／＼の摘草の香ふ渡船哉　死佛
摘草やブックに挿む二三莖　椿風
摘草や野に唐鳥も打むれて　儀康
摘草や北漢の山頭として　無角
行き／＼て摘草の野や黃昏るゝ　雄川
衣濡れんせゝらぎの草摘む子　小蟹
堤下犬寢そべりて摘む人遠し　瀨村
摘草や丘を下れば溫泉の流れ　白雨
摘草や自轉車を寺に預け見　香風
摘草の頭巾忘れし尼の君　山猿
摘草に時代も古き丹塗かな　松雲
俚耳たりぬ四澤南湖草摘野　田柿
柳並木山鳩も來摘草の晝　靜軒

干鱈

干鱈をさげし相撲の女房哉　魚骨
カンテラの暗さに干鱈工夫　袋人
貧厨に小半合を得て干鱈さく　柳子
酒幕の軒や干鱈と明太魚と　若石
七曲り干鱈を鷲く戶板かな　死佛
干鱈燒く八軒長屋酒の香も　雄川
落魄を慰す二合半酒肴干鱈　湖東
如意で招く雛僧唯々と干鱈哉　刀筆
一日一信十鱈の句の木賃の宿　瀨村
掛樋にて棒鱈浸す峠茶屋　香風
快心の友と痛飮し干鱈やく　山猿
雪消き多や干鱈に句味ゆたか　田柿
干鱈吊る旅籠の軒の日の寒し　靜軒

石炭商　三共商會　京城本町四丁目　電話四一三番

外事一束

▲伯林　總選擧結果は進步自由黨候補者激烈なる競爭の後當撰勝利を得たり
▲獨帝　誕生祭當日命名の洗禮ある獨皇孫の命名親は皇太利皇后承諾したり
▲米國　大統領濟國饑民救助の目的にて米國赤十字社の活動を促し起大反響
▲拿捕　郵船に關し伊佛兩國の爭議愈募る即ち伊國側は捕虜が果して眞正の
▲醫員　か否かを確めん爲め抑留を命じたるに佛國は其の放還を迫りて不承
▲愛蘭　べ市會同地行はるゝ英海相の演說會に先ち統一黨主催總會に企妨害
▲黑龍　江鐵道工事の使役工夫及家族十萬七千餘人歐露より無賃輸送に決す

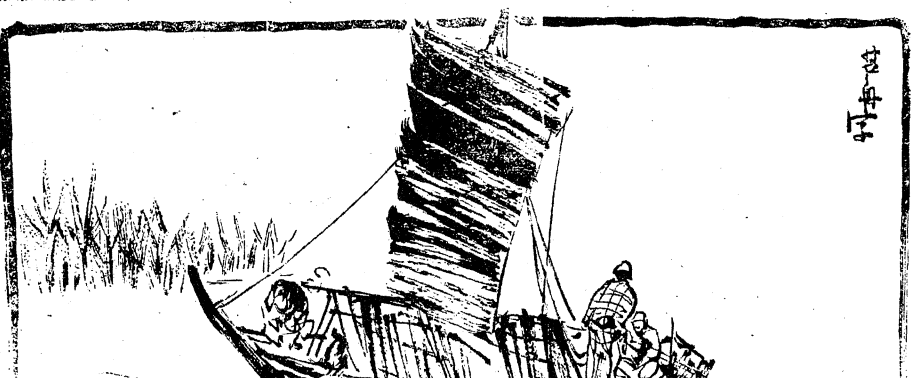
かぜねつさまし　アセピリン

梁川庄八

小金井蘆洲演

第八十九回

才『して其浪人の姓名は何と申します』勇『エー其貴下の同國人で梁川庄八正國と被仰います』梁川庄八と云ふ言葉を聞て才助は愕然として驚き才『扨は梁川庄八我を助けしか、其者は未だ城下に逗留して居るや否や、お前は委しく承知であるか』勇『左樣もう此地にお居ではございますまい』才『旅宿は何と云ふか』勇『旅宿は三桝屋喜平次方』才『それでは御苦勞ではあるが何うか三桝屋まで赴いて本人が尚ほ逗留して居るか、夫とも何地にか發足したか、若し發足したりとすれば何れの方角に參つたかと云ふことを聢と聞定めて貰いたい』勇『へつお前さんは是非其お方に遇はねばならぬのですか』才『遇はねばならぬ所ではない召捕つて連歸らなければならぬ』ゑつと許りに勇吉は打驚きて勇『夫りや又如何云ふ譯であゝ云ふお方を召捕ると被仰るのか』才『さあ其男は天下の義者適れなる武夫には相違ないが何にせよ國禁と云て國の掟を犯して國を退散したのみか奧州仙臺破牢の罪人と名乘て國々を流浪するもの固より善人には違ないが掟を犯せし廉は宥し難し、某は主君の御命を蒙つて齎藥屋に身を窶し國表を出立して此處まで參りしとは云ふもの、何を隱そう某は齋藤外記と申し伊達家に於て三千五百石を食みた側頭を勤むる者である世を憚つて斯の如き賤業者となり、名を才助と改めて來りしも彼に對面したい許り闘らずも此度災難に懸りて九死一生の場合を助けられたる其重恩は忘れ難しと雖も、併し恩義は恩義主命は主命假令御恩を仇で報すとも主命は何處までも奉戴せねばならぬ、この道理を聞分けてお前何うか其者の行衛この地に居るか居らぬか居らぬとすれば何れの方に參りしか聢と聞定めて貰いたい』と始めて明かす才助の言葉に勇『扨は然う云ふ次第でござりますか、それでは私は是から甲府に參りて先の知れぬ曉は知れる所まで聢と突止めて參ります』と直に甲府に飛んで參り三桝屋を訪れて梁川庄八殿がまだ逗留して居るか何うかを尋ねると主人の云ふには『あの御武家樣は貴下が御歸りになると直に此處に居ては事が面倒になると仰云いましてお立になりました』勇『何地の方へ參りました』主『分りませんな江戶の方やら信州の方やら、しも一つ船に乘らたか其處は分りませぬ江戶の方へ行けばまあ笹子を越すし、信州へ行けば大井ヶ原へ出て行くだが、東海道なれば鰍澤から船に乘らしつたのでせう』勇『成程な』主『まあ宜い所は鰍澤の船場を先に聞かしたら宜うがせう、其處の船に乘る時に船場に帳面がありまして必ず國處姓名を記けるのが掟でがすからね、斯うと何でも二十五六日後かね……立たしつたのは……だから其船場へ行て尋ねたら宜うがせう』勇『成程こりや大きに其方が宜いでせうな』偖此甲府から鰍澤までは四里ほどムります、鰍澤の宿はなか／＼繁昌な宿で、甲府から東海道の岩淵までは丁度十八里、一番船に乘つて下れば半日で下ります。尤も陸を行けば二日掛りますから、まあ身延へ參詣の人も東海道へ出る人も十に八九は鰍澤から船に乘るのでございます、併し彼の急流を餘程剛呑な處でありますから時に依ると顚覆るやうなことがないとも限りませぬので顚覆つたら最後死骸は何處を如何して了うやら分らぬ事が時々あるので、夫れが爲め乘る時分に其人の國處姓名を帳面に記しますので、いよ／＼間違が有れば何番船の雜某と云ふことをしらべて、そうして本國に沙汰をすると云ふ趣き、勇吉は三桝屋の主人の話を聞て其處から直に鰍澤の船場に赴き船番に遇ふて勇『エー私は若王子の勇吉でございますが、二十五六日後に一番船か二番船其處は聢と分りませぬが、奧州仙臺の御浪人で梁川庄八と云ふ人が此處から船に乘りは致しませぬか一寸帳面を調べて下さいまし』番『ハイ宜しうございます』そこで帳面を檢めて見ると丁度二十四日ばかり後の朝一番船に乘て下つた侍であるが、奧州仙臺の浪士梁川庄八と云ふ名前が判然ございます』番『此處にありますが此お方がですか』と云はれて勇吉はポンと手を叩いて『難有うございます』と一禮述べて『して見れば彼のお方は東海道に出たに違いない是だけ聞取れば彼の才助殿に云聞きが立つ』と勇吉は直樣我家に立戻つて此話を致しました。



貧困者限り無料調劑　仁川　北嶋藥房

公債株式現物專門　現物問屋　曾野峻輔商店　京城南山町三丁目　電話一四〇九番

三菱石炭　三菱合資會社石炭部朝鮮代理店　泉商會　京城長谷川町一丁目　電話三九〇番

廣告
貸家　南山町二丁目總督府前風景絶佳官吏に適當家賃一ヶ月五十圓　京城本町二丁目　辻屋

日本官製煙草



東亞煙草株式會社

大坂瓦斯コークス並に器具一式
國定敎科書　文房具販賣　仁川新町二丁目　百崎金港堂　電話五百八番

美術實用品各種　セトモノ　各製產地新荷着　（肥）
京城本町一丁目　陶榮商店　電話百三十二番　振替口座韓國三二二番　官製煙草元賣捌所

▲通信販賣▼　兼營買次
◎一葉の御手紙で百般の買物を滿足に調達する御便は弊店の通信販賣に限り申候
◎何品に不拘御入用の節は必ず先づ弊店に御申越し被下度候
◎營業品以外の御物品にても御注文に隨ひ便宜買次取扱可申候
◎御注文の節は可成前金又は振替貯金に御振込被下度候
◎前金御送附なき御方には代金引換小包郵便にて御送附可申上候
◎御注文は地方係宛御申越可被下候
△詳細は弊店物價表に有り御報次第進呈
京城本町四丁目　平壤大和町支店　釜山南濱町出張所

直輸御小賣　織居商店　地方係
營業概目
△各國時計及附屬品△眼鏡　指輪裝身具類　△貴金屬美術品類△歐米自轉車及附屬品　各種寫眞機及原料△大聲蓄音機及び音譜
本町二丁目　振替口座二三二一　時計部電話三六二　寫眞部電話二三九　自轉車部　四八〇番　南大門通三丁目　樂器部

▲共通商品券▼
◎贈答品は弊店發行の織居共通券に限る本券は引換地廣く扱店數も多き故に普通商品券より多くの優れた便利あり
◎本券は左の各扱店に於て引換可申候又左の扱店中寫眞店で寫眞代用す
京城織居各部、平壤織居、釜山園田、仁川糸岐、北島、長野、元山山口、鎭南浦田、大田鹽崎、大邱木村、開城戶田、郡山柿林、木浦田邊、沖永、井川吉岡、群山神林、安東縣相良

蒲團綿眞綿類は申迄もなく
特約ノリヤス類安價大販賣
新春の御裝飾は
京城明治町一丁目　唐川吳服店　電話二六一番
商品切手發賣仕候
地方の御注文は迅速に發送仕候

▲貸金
◎一月十二日左記の處に移轉仕候
俸給者には無擔保にて精々便宜に融通申上候
京城旭町一府廳裏一丁目より二丁目に拔る括小路　電話一四五番　高橋

東京電報

▲出兵と對外關係　中淸動亂は遂に滿洲地方にも及ほし我在留民の生命財產危殆に陷り業に安んずる能はざる情態となりたるを以て帝國政府は租借地の安寧秩序を維持せんが爲め此際居留民保護の方略を考慮し既に大体の方針は決定し居れるが遼東半島及滿鐵沿線の行政權の範圍に出兵するは列國と交涉の必要なく唯日露協約に據り露國政府に協商の必要あるのみなりと

▲公使館員辭職　東京駐劄淸國公使汪大燮氏を始め林贊貢官以下同公使館員全部は二十三日北京政府に向け電報を以て辭表を提出せり汪公使は最近二回迄辭職を願出てたるも聽許せられず今回遂に館員總辭職をなすに至りしが右に對し袁世凱より總辭職を聽屆けの電報あり館員一同は直ちに行李を纏めて歸國すべし

▲所得税案と三派　國民黨は所得税改正案提出につき中央、無所屬兩派と交涉の結果中央派は代議士會を開きて同案に贊成する事に決し淺羽鈴木兩氏提出者となり無所屬にては中野早速兩氏提出者となり茲に三派合同一致せるが該案の特長は從來の最下三百圓を四百圓とし又累進税率を制限せる結果七百萬圓の減額を爲す事等なり

▲十二師團參謀長更迭　左の通り更迭ありたり
第十二師團參謀長砲兵大佐　木田伊之助
免本職補野砲兵廿四聯隊長
野砲兵二十四聯隊長砲兵大佐　木下宇三郎
免本職補十二師團參謀長

北京特電

▲袁の計策　袁世凱は今尙病に托して引籠り靜養中なるも閣僚一同は近く内閣の更迭行はる可きを知り辭表を提出せしが袁のみは皇太后の慰撫に據り未だ辭表を提出せざるも皇族親貴の愈〻退京と決する迄は登聞せざる可く是皇帝の退位を斷行せしむる唯一の策なりと信ずるを以てなすと

▲梁統領狙擊さる　梁北京禁衛軍統領は二十八日革命のため爆烈彈を投せられ左脚を切斷さる

上海特電

▲休戰期と延期　幾度か延期を重ねたる休戰期も二十九日を以て滿了し再び混亂の狀態に陷らんとしたるが遂に袁内閣の讓歩により停戰期二週間延期せられ妥協すべしと傳へらる

▲革軍の大捷　二十六日芝罘發電によれば北伐軍三百野砲二門は廿五日午前九時黃縣を發し北馬山に官兵討伐に向ひ官兵約四百は馬山の東方に於て之を迎へ戰ひ正午より激戰二時間に亘り官軍は琴山に退き革命軍は遂に北馬村を占領し官軍の隊長二名捕虜となれり

▲袁辭職と外交團　袁は外交團に辭職を聲明したるを以て直ちに外交團は會議を催し袁の留任を希望する旨の通知を爲したり

鄉報

●鎭海灣市街經營　鎭海灣市街經營に就ては本年度迄海軍に於て計畫の通り實行し來りたるが來年度よりは之を朝鮮總督府に引繼ぐことゝなし五萬三千圓の經營費を計上したるが其の市街設計は從來海軍が計畫したる設計に基き進工せらるべく何等變更を見ざるべしといふ

●學校と補助金　來年度に於ける學務局所管の補助金は普通學校補助費へ三十八萬二千圓にて右は三百四十五校に對する分なるが新設は百四十五校にて九萬三千圓あり本年の豫算に比して十二萬圓の增加なりとす而して實業學校の補助金は本年度分五萬圓なりしを來年度に於て七萬四千圓とし二萬四千圓の增加なりと云ふ

●商銀合併共同條件　既報朝鮮商業銀行と共同倉庫會社の合併は其後愈〻進捗し共同倉庫會社にては廿九日午後一時より其事務所にて商業銀行にては三十日同時刻より廣通館にて共に合併承認の總會を開く筈なるが其條件左の如し
一、朝鮮商業銀行は共同倉庫會社を合併し其資本金を五十七萬五千圓と爲すこと
二、共同倉庫會社に於ては二株に付商業銀行の株劵一株を交付すること但政府持株の拂込過剩額は合併の際之を政府に返納すること
三、共同倉庫會社一切の權利義務は一括して朝鮮商業銀行に移屬せしむること
四、合併の曉は朝鮮商業銀行に於て倉庫業を兼營すること
五、共同倉庫會社の政府持株に對する配當に就ては合併後に於て朝鮮商業銀行の政府持株と同一の取扱を爲すことに付き朝鮮總督に申請すること
六、右合併の條件に關しては双方の株主に平等の取扱を爲すこと
七、合併後は朝鮮商業銀行の取締役定員四人なりしを六人に監査役二人なりしを三人とすること

●土地騰貴と鮮農民　昨年來内地資本家等の鮮内地に於ける土地買入れに着手するもの頻々たる有樣にして其の結果は朝鮮各地方に渉り土地價額の昂騰を來すに至りたることは屢報の如くなるが今其の土地賣買價額昇騰の鮮農間に及ぼせる影響に就いて聞くに彼等が之れに依り收穫高の割合以上に金融の潤澤を來し自然購買力を增進するに至りたるは勿論土地だに所有せば何時にても必要に應じて金融の便を得らるとの觀念を彼等の間に扶植するに至りたると共に自然農業を以て最も利益を見るに容易なる產業なりとの念を抱き農作に努むるの傾向を生ぜしむるに至りたりと

●米價騰貴と原因　京城を始め春川、清州、公州、大田、開城、忠州の各地方に渉り昨今米穀の出廻り未だ僅少にして米價は昇騰一方を唱へ居る有樣なるが其の原因に就き聞く所に依れば第一は土地賣買價格の昂騰にして其の土地價額の最も昂騰を來せし大田の如き從來一斗落二十圓前後を以て賣買せられし土地が昨年に至り一躍して約十倍以上の二百圓を以て賣買せられ其の邑外一里餘を隔てたる土地にても尙ほ一斗落七十圓前後にて賣買せらるゝに至り其他各地亦少くも從來の倍額以上の昂騰を見るに至りしと彼の恩賜金の分布等に依り一般鮮農の金融潤澤を加へ數年來の米價騰貴に顧み米穀を手離さゞるに搗てゝ加へて昨年よりは地主納税制度となりたる爲め納税上小作人が收得米を手離す等の必要を見ざるに至りし爲めなれど又た一方に於ては地方に依りては所管道廳若しくは地方金融組合にて逆移入其他のことを憂慮して鮮農に對して猥りに米穀の賣出しを禁ずる等も亦多少の原因をなすものゝ如しと

●雲山金鑛殖林計畫　雲山金鑛會社にては必要なる地方の森林に對し伐採の請願を得其許可を得たるも何分伐木するのみにて殖林せざるを以て今後は盛んに殖林をなす筈にて目下經驗ある技術者を撰擇中なりと云ふ

●慶北の漁業狀況　慶尙北道延日郡より寧海郡に至る一帶の沿岸は去月より鰤、鯖、鱈の盛漁期に入りたるが去月中の漁獲高は五萬五千餘圓に上りたる由にて同地方は之が爲めに非常に繁昌せる由而して販路は釜山、下關なりと云ふ

●鮮大豆需用と出廻　目下大坂及び下の關兩地とも鮮豆類は非常の歡迎を以て需用され十二三圓を唱ふるに拘らず尙は注文續々たる有樣にて昨今當京城地方へ買込を申送る者あれど當地方大豆の主產地として知られたる漢江沿岸地方は昨年大豆凶作にて其の產額多きも漢江結氷の爲め之れが仕向けを試むるを得ず京城への出廻りは昨今皆無なりと

●最近市場の籾相場　最近の調査によれば籾一石の價格は京城其他十九ヶ所の市場を通して平均上等六圓三十八錢中等五圓九十三錢下等五圓四十九錢平均五圓九十三錢なりと云ふ

●鎭南浦の貿易狀況　最近に於ける鎭南浦の貿易狀況に就き聞く處に依れば舊冬結氷以來輸出移入共殆んど絕無の有樣なりし米穀類も本年に入り幾分買注文達したるものゝ如く二十六日迄に税關を經由して輸出されたる白米は大連に三斗入六百七十五叺安東縣に五斗入八百叺合計一千四百七十五叺の輸出を見るに至れるが之れを昨年同期の六百七十叺に比較せば米穀の輸出は殆んど過半數以上の輸出超越を示せるが且つ輸入に於ては鐵器及び木材類棉等弗々ありて輸出入共昨年に比較對照せば寧ろ好成績なるものゝ如しと

●江原道の柞蠶事業　江原道管內に於ける柞蠶飼養の最近狀況を聞くに同道の飼育總戶數は二百三十二戶にして其の飼育林面積二十萬九千三百九十五坪に渉り此の收繭顆數四十二萬三千百四十九顆にして平康安峽洪川伊川地方最も飼育盛んに其の收繭の多くは稱繭の儘にて蠶種及び蠶糸用として京城方面へ賣却されつゝありと

●漁民の養殖計畫　京畿道廳に於て昨年永宗島及附近の島嶼に蠣の養殖をなせし結果成績甚だ良好なりしを以て過般來同地の漁民は農商工部水產課に出頭し其出願の速かに許可あらん事を迫り居りしが此程約六萬坪餘の養殖許可されたるを以て近々其の養殖に着手すべしと云ふ

●本道殖林計畫　京畿道に於ける今春の砂防殖林は砂防工事延長約四萬間にして其砂防地及谷間の草地等に植付くる苗木は赤松百十五萬本、アカシヤ五萬本其他クヌギ、ヤマハン等合計百二十四萬本なるが其植栽面積は約五百町歩なりと尙瓢草種四石五斗餘を播下して禿山改良の試驗を行ひ之と同時に二十二種の樹苗七萬本を三十七等種に區別して試驗植林を行ふ計畫なりと

●證明物件數と價格　京城府廳土地證明係にて昨四十四年中取扱ひたる土地家屋の典當賣買に關する證明物件數は總計一萬〇六百二十九件なることは既報の如くなるが左に其の價格を擧ぐれば賣買は土地十萬三千八百十三圓家屋五百四十八萬〇四百九十七圓、讓與は土地三千圓家屋十萬八千五百七十三圓、交換は土地三千〇七十四圓、典當は土地二萬五千三百八十一圓家屋百三十萬九千二百七十六圓、所有權は土地二十一萬五千四百三十四圓家屋百〇一萬四千三百十二圓にして家屋合計三十五萬〇七百〇二圓土地合計七百九十一萬二千六百五十九圓總計八百二十六萬三千三百六十二圓餘に上ると

●京都博覽協會開會　京都博覽協會は明治四年の創設に係り爾來時に應じて開會し殖產興業の發達を圖りつゝありしが今年は更に第八回全國製產品博覽會を開會することに決し其の時日は來る四月一日より五月三十一日にて勿論一般の出品を歡迎すべしとのことなり

懸賞論文募集

半島鑛業振興策

募集規定

一懸賞金壹百圓

一右は當選論文發表と同時に當該論文寄稿者へ贈呈すべし。
一文章は論文体言文一致体何れにても宜敷成べく平易簡明なるを可とす。
一當選論文の決定は本社爲鳴鑛業關係諸大家の審判に因るものとす、而して當選論文の數は一篇とす。

一締切期限は來る三月一日とす

一當選論文の發表は來る三月十日の本紙上に於て爲すものとす。
一當選論文の發表は寄稿者の御希望に因り本名匿名何れになすも妨げなし但し匿名を要せらるゝ方と雖本社に對しては住所氏名を明かに通じ置かるゝ事。
一應募論文は當選外のものと雖應募者へ返還せざる事。

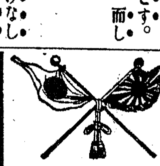
附記　本懸賞は實際的鑛業振興策を募集するものなれば文章の巧拙は敢て問はざるものとす

京城新報社

●證明手數料の總額　昨四十四年中に於ける京城府土地家屋證明及び典當事務に關する手數料總額は土地九百六十九圓家屋一萬八千四百二十四圓計一萬九千三百九十四圓なりと

●借地人組合設立計畫　龍山民間有志者等は先頃借地人組合なるものを設け事務所を新龍山元民團役所跡に置き居留地發展策を計る爲め京城龍山間に跨る軍用地並に鐵道用地を拂ひ下げんと運動中なるが右拂下げに關する諸願書は去る十一日付を以て軍司令部及び鐵道局宛にて差出したりと

●京城市の土地賣買高　京城民團管轄内に於て客年十二月中内地人が朝鮮人より買入れたる宅地は七百〇四萬六千二百十五坪家屋百六十五萬七千二百二十七坪にして此の兩者の價格百〇四萬七百二十圓八十錢畑地は十五萬七千四百四十三坪此の價格四萬百九十圓三十錢なるが又朝鮮人が内地人より買入れたる宅地は二百六十五萬一千五百二十七坪家屋二十七萬八千〇〇九坪此の兩者の價格三千一萬百三十四圓にして更に内地人間の賣買は宅地五百九萬三千八百六十五坪家屋百十九萬五千五百六十七坪此價格七十萬七千百八十三圓畑地十萬二千九百十五坪此の價格四萬九百六十圓なりといふ



孝明天皇祭

●朝鮮銀行移轉開業　過日新築落成式を擧行せる朝鮮銀行は爾來移轉準備中なりしが二十八日を以て悉皆準備を了り二十九日より新行舍に於て平常の通り營業に從事せり

●兩市場賣上高　京城府廳調査に係る昨四十四年一月より十二月末日までに於ける南大門及び東大門兩公設市場の諸物貨賣上高は南大門市場は農產物二百二十七萬三千六百八十一圓、水產物六萬八千六百三十一圓、織物五千四百二十七圓、雜貨四十五萬四千九百五十六圓、其他三千四百四十二圓、合計二百八十萬千[illegible]百十六圓にして東大門市場は農產物百五十八萬二千圓、水產物三十六萬七千圓、織物八萬六千圓、畜類四萬九千圓、雜貨五十四萬五千圓、其他三萬七千圓、合計二百六十六萬五千圓なりと

●農工銀行支店設置　漢湖農工銀行にては其地經濟狀況の發達に應せんが爲め江原道鐵原に支店設置の計畫あることは既報の如くなるが右は過日の總會に於て可決したるを以て其の筋の認可を俟ち直に設立に着手すべしと

●寺内總督の病狀　寺内總督の病症は輕恙なる朝鮮熱に過ぎずして罹病以來高度の發熱は見ざるが何分俄に輕快に赴かず尙病蓐にあるが今後四五日間は從來の通り療養を要すべしとの事なり

●電線故障と遲延　内地朝鮮間海底電線中の一線は廿八日午前七時三十分以降破損したるを以て當分の間内地朝鮮間電報は多少の遲延を免れずと

●廢税委員の消息　過日商業會議所聯合會を代表して東上したる穀税撤廢運動委員群山書記長高洲氏は二十八日迄大阪に滯在同地朝鮮貿易商組合並に關係組合取引所と打合せを爲し東上したる旨或る筋に電報ありたりと

●仁川電氣會社總會　仁川電氣會社にては二十九日午後一時より民團樓上に於て總會を開き四十四年度下半期決算報告及び役員改選を行ふ由

●朝鮮銀行發行高　一月廿一日より廿七日に至る朝鮮銀行銀行券總發行平均高は二千三百五十六萬二千百〇一圓にして内正貨準備發行平均高八百十七萬九千八百四十七圓保證準備發行平均高千五百三十八萬二千二百五十四圓也と

●蠶業講習所卒業式　總督府勸業模範場龍山支場女子蠶業講習所にては來る三十一日午後一時より同講習所に於て第二回卒業式を擧行する由

●學校長の新任　二十七日付を以て勸業模範場技師三宅懸吉氏は平壤公立農學校長に新任され同時に同學校長事務取扱道事務官篠田治策氏は免官となりたりと

●檢事の後任　膳高等法院檢事の後任は目下人撰中にて一兩日中に決定すべしと

●宮脇判事の免官　曩に朝鮮司法制度の改革と題する論文を法律新聞に寄稿し當時懲戒處分を受けたる宮脇判事は今回依願免官となりたりと

●明石總長領事訪問　明石總長は二十九日午後一時英國總領事館を訪問せり

●若松府尹の訪問　若松釜山府尹は二十八日夜入京二十九日總督府内務部長官を訪ひ事務上に付き打合せる處ありたりと

●深尾課長の出張　深尾關税課長は今回内地に出張を命ぜられたるが三四日中に出發すべし滯在は一ヶ月の豫定なりと云ふ

●檢事轉任と出發　高等法院の膳檢事は今回釜山地方裁判所檢事正に轉任したるを以て四五日中に當地出發赴任すべしと云ふ

●朝鮮郵船の移轉　朝鮮郵船會社は其營業所を朝鮮銀行跡に設くる筈にて一兩日の内移轉すべしと

公人私人

▲今村嘉之助（長興憲兵分隊長）廿七日入京浦尾
▲秋本豊之進（平壤府尹）同山本
▲原田鐵策（鎭南浦民長）同同
▲若松兎三郎（釜山府尹）廿八日入京巴城館
▲小倉庫之助（法學士）同山本
▲戒田清澄（漢湖農工銀行江景支店長）同浦尾
▲高田稔（新幕憲兵分隊長）廿七日出發
▲井原德松（同上）同清州
▲高根信禮（木浦居留民團長）同木浦
▲西村延次郎（釜山民團助役）同釜山
▲奧戸善之助（辯護士）同同
▲神代彦次（同上）廿八日出發釜山

▲京城手形交換高

	金額	枚數
一月廿九日	一五一、三〇一、一六〇	五五

▲茶袋▼　此の間茶袋子の友人某が態々自宅へ遣つて來て這ふいふことを注進に及んだ『京城に於ける總督府の官有財產中土地家屋の使用しない分が幾らもあるが那れは日外何處かの新聞にもあつた通り當分何人にも貸下げぬとかのことだが若し果して事實とすれば爰に一つ不思議なことがある▲さいふのは外でもないが實は自分の友人で或る所に而も立派に『朝鮮總督府所管』と標札を打つた溫突家屋を借りて居るものがある、間數は總計七間で一間が五十錢、庭もあつて家賃の廉い割合には恰好な家だ、ソシて其の友人は『三圓五十錢位な家賃で這んな家が借りられるのだから結構だ』といつて居る、何にも相談だから一つ營繕課に當つて見やうか……』▲此の話しを聽いた茶袋子は『ソンなことは斷然な筈だが何にしろ京城中で現在使用して居る官有財產と、使用して居ない夫れとの區別がつかぬ位だから否な區別をつける必要はないと號して居る營繕課のことだから或は事實かも知れぬ』と混ぜかへすと其の友人は呵々大笑しながら辭し去つてしまつた▲古城民長が折角頭腦を痛めて作り上げた税制整理案は、何うも一般の議員に歡迎されないとかのことだ、尤も其の歡迎されないのは案其のものゝ良否でなくて民團存廢問題の決定しない今日、眞面目に研究したとてツマらぬといふにあるらしい▲併し最初の方針は民團が現在のまゝと假定して調査會を設けた程であるから、今更ツマらぬなどゝいふ考へを起さず大に研究して民長の骨折りを現實にするやうに努めては何うか、龍頭蛇尾は實際感心しないネ。

●祭日休刊　三十日は孝明天皇祭につき三十一日附發行の新聞は休刊とす



元花月の仲居頭 れんのぶ述懐談

障子に嵌めた硝子を透うして星の如な家々の燈火の風に瞬くのを見るともなく凝乎して其時の記臆を辿つて居た女は頻時あつてトン〳〵様を突いた様な [illegible] 『ウン〳〵解うでムいました、年をとるとツウ〳〵不良くなるので [illegible] 思ひ出せないんでムいますよ』と [illegible] 笑つて『斯う云ふ [illegible] いました、

市原の旦那様の伴れになつた若奥様の

顏、姿こそ風俗こそ變れ何と云ても眼に揃つた事のある様な気がしてならないんでムいますよ、左様とも [illegible]

帖を一枚〳〵繰り返しまし 脳裡に疊込んだ寫眞

[illegible]

清華亭の久之助さんと髪

[illegible]

宇佐八幡さまや、太宰 新婚旅行

[illegible]

府の天滿宮様へ起誓の為めの御參詣をなすつたのだ相でしたが御信神の御利益と云ふものは有難いものでモウ今では孫さんの [illegible] 立派な坊ちやんが出來に成つてる相でムいますよ、御壯な事でネ、、、 [illegible] う私は、トンダ事を [illegible] 出したが思ひ出せば市原の旦那様に花月は勿論私までも非常に御贔負を戴いたものでムいますよ [illegible] 冬の夜、現ともなく夢の跡を追ふ儚の思 [illegible] 噛み占めし居、翠め [illegible] 上無言の悲劇

●交換局内の人鬼

▽果して事實ならば

京城郵便局電話交換局の交換手取締 [illegible] は大年増あつて常に [illegible] 纖弱い腕に僅々三 [illegible] 薄給を得て覺束なき [illegible] 或は此に依りて嫁入 [illegible] 云ふなる特勝にも [illegible] 手に對し四季の音物 [illegible] 取扱ひを二三にし自 [illegible] 調子にて僅な事を廉 [illegible] 處女を捉へて惡罵を [illegible] 三日前一交換手が些 [illegible] しに女だてらに打つ [illegible] 演じ其身分の卑き人 [illegible] き取扱ひもせずと不 [illegible] りと噂せらる、噂は [illegible] たるもの猛省する所

●眞正直な小林様、

▽子曰正貨が猶好い

[illegible] 支局創立六週年の紀 [illegible] 連名帳無遠慮な素破 [illegible] 愕かした行儀のお宜 [illegible] にも知らざつた兄弟 [illegible] の仕様もなく途方に [illegible] 又面白い事に心得藝 [illegible] 間に相違のない如さ [illegible] 數をかぞへられて恥 [illegible] 白いとて揄揶廻つて [illegible] 量見者の多い世の中

つた家の雛

[illegible] うだ澤田さんは優し [illegible] は、と揄揶はれる度に [illegible] 月何日かの夜或る席 [illegible] たのが其髯の小林藤 [illegible] 其髯に武者振り付き [illegible] 郞と浮名を立てられ [illegible] も何どかした交情な [illegible] ら却つて嬉しいんですけど左様でも無いのにさ、何どか

妾の女を立て

、

頂戴

よう』ようたらようと引張り廻された小林君『お前斗りぢやない乃公も皆から揄揶はれてナ、ウー迷惑しつろうなア、ヨシ〳〵お年玉を遣るよ、併し乃公もお前と浮名を唄はれたのには不服はない』なぞと如才の無い事を仰云つてお別れになつた翌日蔦家に雛子を訪ね來た人あり何の御用と自身立出でて會つて見ると其男風呂敷包を差置きお前様が雛子様ですかサラバ此品粗末なれど或方よりのお贈物お受取り下されたしと申置いて立歸つた跡で姉の吉彌立會の上披いて見ると大奉書に水引かけた包物宛名は蔦家内にて雛子様大學目藥よりと鮮に書かれたり、此を見ると雛子昨宵の事を思ひ出し

正直一圖の小林藤右衛門様

妾の言葉を信用して氣の毒と思つての此お遣はし物嬉しくはあれども氣の毒とも何とも申し様もなし眞實

此方の小林

さんと云ふは

畜產會社

の小林様々他が藤右衛門様と思ひ違ねてるを幸に其の身代にして居るのを憎ひとも思はず御親切にも斯うした物を下さると云ふお優しさは阿呆らしい程のお優しさ勿体ないが折角下さつたものをお返し申すは馬鹿氣ても居れば御無禮でもあるヽア〳〵ぢ辭儀なしに頂戴したが當世なり然るにても下さつたのは何物と引出して見ると目も覺る如な

幽禪縮緬の長襦袢に桃色縮緬の扱帶まで添ねてあり、

雛子思はず兩手を合せ『姉さん此が正貨だつたら猶好いのにね』と此の詞當り奴

●刑事巡査拘引さる

▽罪名は其官名詐稱

二十八日午後五時頃西部布洞九十五統八戸荷物客主金文守方に一名の鮮人が入り來たり俺は刑事巡査だ昨日南部管内水閣橋附近で强盗殺人事件あり旅客を取調べに來たとて室內を隈なく見廻したる末同日午前十時頃南大門停車場附近にて金が出逢ひたる忠淸北道忠州郡北便面内里居尹定然及び同郡南邊面觀山里居金然尹と云ふ兩名の鮮童が二百圓の爲替劵を持つて雜貨の仕入れに來たりたるを宿泊させたるを見付け宿帳に記入しなきより貴様等が怪しいとて散々打擲するより金も不審に思ひ斯くと紫岩派出所に訴へ出でければ即刻警官駈け付け官名詐稱罪として引致取調べ中なるが斯奴は京畿道果川郡蟄蟹津居當時住所不定の惡漢李瑞雲(二九)と云ふ者なり

●居直强盗就縛

▽兩巡査補のお手柄

京畿道豐德郡領井浦翻秉善(三二)は前科數犯の惡漢なるが二十七日午後七時龍山面東幕上契三統六戸典當局李文活方に至り自分は某商品の荷主なりと僞り其夜は同家に宿泊して翌二十八日午前三時頃に至り居直り强盗と變じて主人を强迫して現金三千圓及銀簪等の質物雜品二十點を强奪逃走せんとする折柄巡回中の巡査補宋賢燮、田龍鉉二氏難なく取押へ龍山署へ引致したり因に同人は昨年來麻浦龍山地方に於て四ケ所の强窃盗を働たる事此程自白せりと尙餘罪ある見込にて目下嚴重取調中

社告

一店員寫眞帖發刊

右は今回我商業會議所に於て勤續店員諸氏を表彰せるの擧を賛し此機會に於て京龍仁各商店の店員諸氏紹介の目的を以て發刊するものなり詳細は後報すべし

京城新報社

●喧嘩過ぎての棒片

▽伯李址鎔親族會議

李址鎔伯が賭博を常習として酒色に耽り貴族の体面を汚すのみならず過般井出某の詐欺賭博事件に關連して告發せられたる由は其當時記載したるが伯爵の近親者は憂慮措く能はず今回親族會議を開きて善後の處置をなすことに決したり

●特勝なる朝鮮人　去る十九日午前七時京畿道高陽郡下東面龍頭里居黃學仁(四五)が空箱を背負ひて黃金町通りを急ぎ行くを銅峴署の原田巡査が認めて追跡したる際附近に群れる鮮人等は誰一人應援する者なく却つて路を開いて犯人の逃走に便ならしめたるを只一人南部大坪坊大廣橋三十七統八戸店員李基演(二一)と云ふが殊勝にも終始原田巡査と共に追跡して漸く廣通坊茶洞北方河邊にて引つ捕へ取調べたるに十八日夜黃金町通長尾正三郎宅前より右空箱代一圓五十錢を窃取したることを自白に及びたるが被害者共に輕微なるも其の心情を嘉して二十七日明石警務總長は李基演に對し金五十錢を賞與されり

●蝙蝠傘を買て洋傘を窃む　原籍大坂市西區難波町番戸不詳當時住所不定無職宮地竹雄(二二)と云ふは本月二十日午後十二時頃龍山面堂峴九統八戸鮪甫家朴順宋方にて遊興したる上歸途に際し同家の温突內に在りし女持洋傘一本を持ち歸り日頃懇意なる龍山川端町湯川君之介方の押入れ內に隱し置きたるを龍山署の曾根崎巡査に探知せられ取調中

●無錢酒食　本町一丁目裏通高島方京城郵便局臨時夫愛媛縣人高島周祐(三七)は二十七日の午後七時頃一名の鮮人を連れて南部飼畜洞酒商黃明甫(三八)方にて十時頃迄で飲淨し一足先きに鮮人を歸らせ續いて自分も立ち歸らんとせしかば一圓二十錢の飲代を請求したるに支拂はず南部署に同行されて今尙ほ留置場に

●所持質札十四枚　吉野町一丁目河島乾方所有家屋の留守番金尙淳は數日前板戸三枚を窃取されたるが二十八日午前一時南部盤石坊桃洞孫永秀方に該板戸のあるより足が付き犯人は桃洞居住德連(三六)の所業と判り同行南部署に訴へ出でたるが此奴質札十四枚を所持せる孤鼠泥なりし

●狂人郵便局を襲ふ　龍山坊靑坡三契居鄭錫鳳(二二)と云ふ狂人は二十八日午前八時三十分西大門郵便局事務室に闖入して亂暴せんとしたるを取押へられ兄の鄭錫俊に引き渡さる

●靴泥　忠淸北道忠州郡西內外二府洞當時住所不定の人夫陰鳳奎(二二)は去る二十四日永樂町豐田猛雄方にて靴一足を窃取し其他諸所にて窃盗を働きたるが二十五日北部署の手に捕へられ二十七日檢事局送り

●足拔娼妓の逆戻り　龍山桃山遊廓日進樓の抱娼妓小西トメは昨年十二月廿九日逃走し居りたるが此程所在發見せられ二十九日取締規則により龍山署に於て拘留五日に處せらる

●此れも貧から　新孔德里統戸不詳申金植の妻金姓女(三二)と云ふ米倉町龍山精米所の米撰りは二十七日午後六時歸宅の際白米一升八合を盜んで南部署へ

●壽座　毎夜大入續きの同座三十日の代り狂言は『八陣守護の本城』切れ好に依り『お染久松野崎村の場』なりと尙は中村時松郎新加入したりと

米穀類 有價證券 委託 現物賣買所
合名會社 山柴組
京城古市町電話一二九八△一六八八
御委託物品に對しては低利に金融致升

宗匠訪問錄(二)

鷲山宗直氏

香茶生花琴三味線踊や唄の宗匠巡り

裏千家茶道今日庵宗室師範代

學校の先生の中に茶道を遊藝と思ふて生徒に禁める方もあるが是れは茶道を知らぬからで琴や三味線と同一視されては困る次第です昔時茶は藥として醫師に用ひられたものでした普通の煎茶や玉露は若木から取れますが抹茶になると老木から取るので先づ濃茶を取るには少なくとも八九千年乃至百年以上を經たものでなくてはアクが多くて使はれません、そして從來は茶道と云つても動作にのみ心を用ひて茶道の根本を知らぬ人が多くあつた茶道は曲尺割が根本になつてゐるが然し知つてゐる人は茶人の間にも極めて少ないものである利休が多くの弟子中から南方宗啓と云ふ人を見込んで讓つたもので是れは宗家を繼ぐ人にのみ讓るのである此の宗啓が十ヶ年の星霜を費して書いた南方錄及び南方本錄にこの曲尺割のことは詳らかに載せてある故に茶道を學ぶには先づ第一に曲尺割から調べねばならぬものでお手前がドーのコーのと云ふのは第二義である然し此の曲尺割と云ふことは到底言葉で以て言ひ現はすことの出來ぬもので長く研究して行く中に自然に解つて來るものである利休の歌に『曲尺割は小狐丸の夢想槌ほこにぞあてぞほこぞはずしぞ』とある又『茶の道は心に傳へ目に傳へ耳に傳へて一筆もなし』と云ふ位で甚だ至難しいものである(つゞく)

移轉
清國總領事館前(本町一丁目裏通京城郵便局裏)に新築中の處略落成に付十二月廿日より於同所診療に從事す
飯塚齒科醫院
院主東京大學齒科專攻 飯塚徹
醫員齒科醫學得業士 芳賀一衛

洋犬紛失

一 ドイツ種ポインタア牝犬一頭
特徴 毛色白色肝臟色 肋に大白點あり
の兩足 半白短き尻尾 大きな光る眼
右は『ドラ』と呼べば來る犬なり御發見前
の御方は左記へ御知せ被下候へば相當
の御謝禮可差上候
京城貞洞
ソンタクホテル方
ギブス

平民文庫

▲民團前街路取擴げに要する用地買上げに應じない者がある相だ公共の爲めには自己を犧牲に供すべきを知らざる徒は全く社會的制裁の必要がある(憤慨生)▲憤慨生に申す賣買は各自任意の事だ應じないのには應じない理由があらう夫れを究めずしての制裁呼はりは奮生論だ▲公共の爲めには自己を犧牲とすべしだと云ふが犧牲と成つた自己に社會は如何なる程度に於て犧牲たりし爲めの窮乏に同情の誠意を運ぶであらうか▲國家非常の際には身命も猶且つ捧げねばならぬが平時に於て社會公衆は公衆自己の利便を得んが爲めに他人の利害を考慮せぬ追剝染みた事は爲す可らずであると云ふ事も考慮の內に置かねばなるまいと思ふ(小僧)▲西小門外に屠獸場があると見れて毎日屠んに牛を其方に追ふて行くのに往々にして其屠つた肉を盛つて戻る節事を其屠らるべき牛に曳かせて行くのを見受ける悲慘此の上もあるまい(風閑子)▲若し南大門通を取擴げる必要のある時に第一番に困るものは朝鮮銀行だらう『一間丈け引込ませろ』なぞと來た時は何うするだらう、興味ある研究問題ではありますまいか(小僧)▲娼妓總代に答ふと云ふ杉原醫師に對する投書は沒とす(係)▲八坂通りの吾妻樓は營業を停止せられたと見ゆるナ(軍紀肅正)▲東大門通郵便所長に御注意をす京城東大門通郵便所の下に英文でしか〳〵と書いてあるが終りのオフイスはケツから二ッ目のシーがオーになつてゐますよ(高襟ヨボ)▲近頃午後五時頃から停電が頻出するソレにヨボ車掌は横着千萬にも停留場で停車せぬことが隨分多くある日曜の午前十一時古市町に停車せず行つた東臺には十六號の札が揭つてあつた(迷惑生)

質屋老舖讓渡
五年繼續 たし場所最も適當、電話、電燈等の設備其儘
御望の方は本社へ御照會あれ

廣告

購買廣告
一 刀及付屬品 壹千振
外ニ短刀付屬品共 五拾振
右購買ス供給希望者ハ來二月五日午前十時迄ニ入札書差出スヘシ
十時開札ス詳細ハ當部會計係ニ就キ又ハ本日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ
明治四十五年一月三十日 警務總監部

院長東上中の處昨夜歸院候間此段辱知諸君に謹告仕候
一月廿八日
仁川 佐藤病院 電話四百九番

商業繁榮の文明機關
▲今回朝鮮總督府の特別御認可の光榮を蒙り本會を開設す
▲文明的商業を爲さんと欲せば稽て本會に入會あれ
▲商業の繁榮と貯金の奬勵は本會の主眼たり
▲本會の趣旨と方法は御光來あれば詳細説明す
京城南大門通一丁目一番戸
朝鮮郵便貯金會本部
追て支部設置希望者は郵劵三錢封入照會あれ

恩給
年金時立替 低利長期契約 手數料一割 即今般右營業開始仕候
全部總承致迅速且取扱可申候 大門外神戸屋ノ分モ一切ニ取扱可申候
京城櫻井町八四 山口屋

株式會社 百三十銀行 京城支店
電話百九十四番 振替貯金朝鮮五十八番 一二三番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿內 大阪、神戸、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影
東海道 東京、横濱、大磯、靜岡、甲府、津、岡崎、濱松、半田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪、千葉、龜山
東山道 彥根、大津、八幡、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、伊勢崎、長野、高崎、前橋、若松、福島、秋田、能代、小諸、土崎、青森、仙臺、加納
北陸道 金澤、敦賀、福井、北方、大聖寺、宮津、高岡、高山、伏木、新潟
山陰道 米子、姬路、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、境、松江、入手、太田、倉吉
山陽道 岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、西大寺、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、呉、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、德山、萩、長府、小月、下之關、明石、津山、阿知須
南海道 和歌山、田邊、御坊、新宮、尾鷲、串本、高松、阪出、豐濱、川之石、今治、西條、松山、吉田、洲本、八幡濱、郡中、宇和島、高知、德島、撫養
西海道 門司、福岡、博多、直方、飯塚、佐世保、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、伊萬里、唐津、佐賀、若津、牛津、宮崎、久留米、熊本、鹿兒島、八幡、小倉、中津、行橋
北海道 神崎、小樽、函館、札幌、旭川
臺灣 臺北、臺南
樺太 太泊
朝鮮 仁川、釜山、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、羅州、晋州、馬山、尙州、大邱、羅南、新義州、城津、開城
清國 清州、大田、金泉、公州、水原、全州、安東縣、大連、營口、奉天、旅順
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本酒

●日本赤十字社病院本部看護科卒業
●東京神田水原產婦人科病院附屬產婆學校卒業
●東京醫學博士榊產科婦人科病院產婆實地研究
●東京府免許產婆
●妊婦產婦親切に取扱可申候
京城太平町一丁目 取次電話一八〇二
產婆 若山ちう

高島易斷
旭町一丁目御嶽教大教會 山の內

貸家
南大門停車場附近元水產會社旅館向
御入用の方は水產會社へ御來談あれ

長崎流
志るこ 茶碗むし むしずし
南山町三丁目
松その

●諸公債株券
現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
兼業 既製洋服卸小賣 諸官衙御用達
京城本町三丁目
大坂野村德七代理店
田中友吉商店
電話（ク）九九三

くだり病一切の特効藥
健胃固腸丸
本劑へ全國到る處の賣藥店又は取次販賣所にあり
大阪市東區伏見町堺筋角
本舖 谷回春堂
（電話東四五八番）（振替貯金番號八三〇）
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番・一〇六八 振替口座京城十六番



代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番・一〇六八 振替口座京城十六番

弦齋流割烹
す津祢
南山町一丁目 電話千五百二番

世界無比
淳良清酒


○堺大塚の金露釀造酒は今回改良に付て釀造酒のみを用ゆる事にせられたり
○大塚釀造場の金露酒は衛生に經濟に嗜好に適合せる一大良得品なり
○京城に於ける金露特約販賣店の元祖は佐藤牧商店なり
○大塚金露酒は最近中央改良の結果賣捌高大多數を占めたるは佐藤牧商店なり
○地方御注文は特に御意を以て御注文に應じ可申候
特約 大販賣 京城本町二丁目 佐藤牧商店 電話二九番 振替京城一九番

新築落成 御披露
京城長谷川町二丁目
佐藤旅館
電話八八九番

營業項目
牛乳搾收業
家畜飼養繁殖
畜產物賣買
家畜飼糧販賣
種牛種付及貸牛
其他畜產業一切
京城南大門外 荒井牧場（電話一〇五六番）
江華島 荒井第二牧場
○牛乳販賣は京龍牛乳一手販賣所へ委托致候間從來通同所へ御用命被下度候
○洋牛及朝鮮改良種も々繁殖致候間御買求願上候

滋養強壯 グリコナール錠
▲北里博士指導佐伯氏發見の方式に由り製出したる本品は卓越廣汎の用途を有する滋養強壯劑にして特に肺結核慢性胃腸病及一般病後産後等の營養不給に適應す▲各地藥舖にあり▲説明書郵呈す
▲發賣元 東京市日本橋區室町三丁目 三共合資會社
朝鮮總代理店 仁川本町仁和洋行 竹田津三平

株式會社 十八銀行支店
京城黄金町（銅峴）
電話四二〇番 五八〇番
銀行一般の業務精々御便利に取扱申候
○本店 長崎市
○日本朝鮮の各樞要地並に露領浦鹽、清國安東縣、大連に支店、出張所又は爲替取引先有之候
○株式會社長崎貯蓄銀行京城代理店として貯蓄預金取扱申候
◉貯蓄預金
○元金百圓に付日步一錢二厘
○一口一錢以上何程にても御預り申候
貯蓄預金受拂共精々御便利に取扱申候



アンチピリン丸
ねつ・はやりかぜ・づつう・りうまちすに大効あり
藥價 五錢・十錢・十五錢・廿五錢
發賣元 大阪心齋橋 丹平商會
本舖 東京 丹平商會
代理店 京城 新井藥房 電話九百四番・一〇六八 振替口座京城十六番

眼科專門
京城本町六丁目（元軍司令部通り）
金井眼科醫院
大韓醫院眼科部長 金井豊七
電話一五五六番



紙と印刷
諸紙 諸官衙御用
和洋帳簿
印刷
各種製本
播本商店
京城永樂町二丁目 電話百拾番

榊齒術所
京城明治町一丁目（森、村質店隣）
電話は（六六九番）へ

酒精アルコール
直輸入元
仁川花町一丁目（電話八五〇番）（電略サ） 振替口座京城五八二
坂倉支店


●母國よりも安い●
携帶電燈 大一圓二十錢 中壹圓 小七十錢
懷中電燈 大九十錢 小七十錢
地方には即時小包發送
各種眼鏡 貴金屬品 電燈各種 時計一式
販賣 京城本町一丁目郵便局前 金化堂時計舖 電話一三一八番
●大々的の勉強●

精神感應 催眠術（無催眠）諸病治療（惡癖矯正）
◎◎ 南山町一丁目六十四番戸ノ一 大剛庵

陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
仁川水產組合指定旅館
第一各保險會社指定旅館なり
眺望の好き事 仁川海岸
旭屋旅館
電話二五一
弊館には夜警の設備有り
御客樣の安全此の上なし

株式會社 第一銀行京城支店
京城南山町三丁目
資本金 壹千萬圓
積立金 八百貳拾萬圓
明治六年設立
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
電話一一番・六二一番 振替貯金口座京城一二番

政宗 正則 清正 醸造元
酒 小賣壹升に付三十五錢
御賣は特別割引可仕候
京城壽町三丁目
清酒 味淋 燒酎 醸造元 中井酒造場販賣部
並に日用食料品雜貨類
電話百七十七番
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候

効能ある温泉
鐵冷温泉
旅館並に浴客應貸
京城長谷川町二丁目（朝鮮銀行北横手）
廣安喜次郎
電話一四一一番

齋藤齒術所
京城旭町一丁目
電話一四一四番

齒科診療
京城南山町二丁目（天眞樓隣 寫眞館跡）
齒科醫 楢崎東陽
電話千三百六十番

元祖 食パン
菓子パンアンパン各種
總督府各官衙御用
陸軍御用
製造 小賣 卸商
京城太平町二丁目 相川兄弟商會（電話一一八九番）
釜山富平町一丁目 相川兄弟商會支店（電話二七六番）

京城南山町二丁目
小倉齒修所
（伊藤組南に入る）

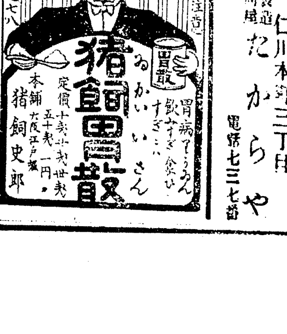
英國セフヒールド市 シーボムアンドディキスタル製鋼會社特約品
鑛山用 地球鷲印八角鋼
道具用 同 角磨鋼
職工用 同 鑢各種
右は朝鮮一手販賣罷在候處鮮地に於ける材穿鑿具製作用として最も適當の爲め至極好評を博し價格亦内地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候
京城本町五丁目
和洋金物商 釘本藤次郎本店
（電話四五番）電信略號「ク」振替貯金口座京城二五六番

電話
擔保貸金 月賦賣渡
明治町一丁目 電話一八四四
口入業 萬年社

齒科診療
京城本町二丁目三越吳服店前 野田齒科醫院
仁川仲町三丁目永野吳服店隣 野田齒科醫院分院

東京流納豆大安賣


御料理向
味噌製造 醬油問屋
仁川本町三丁目 たからや
電話七三七番



代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番・一〇六八 振替口座京城十六番

本場精撰


右銘茶各種新物續々入荷付に卸小賣とも大勉強仕候間多少に不拘御用命願上候
仁川本町四丁目（府廳通）
田中芳春園
電話四五〇 振替京城五〇二

商標 三味噌
京城南大門通三丁目
製造元 遠藤廣吉商店
（電話九八二番）

キ
二月中 滊船出帆廣告
三省丸 舊島行 一月三十日前九時
天草丸 海州行 一月 日前九時
成歡丸 屯串行 一月 日前時
海利丸 海州行 大湖芝行 一月一日前九時
三省丸 二月一七日前三時
合資會社 秋田商會船舶部 仁川本町一丁目 電話七五〇番
秋田商會船舶部荷捌所 仁川本町海岸通 電話四一九番
荷客取扱所 仁川本町四丁目 柴田回漕店 電話五三二番
山本回漕店